

君は壁の向こうが見えるかい？

<全校朝会(R6.5.7)校長講話概要>

どんなGWだったでしょうか。部活動の練習会や大会等に参加した、家族でゆっくり過ごした、旅行に出かけた、などなどそれぞれの有意義なGWだったことではあると思いますが、楽しいことはあつという間に過ぎ去るものです。

学校に行きたくないなあ、と思った人も少なからずいたことと想像しますが、いやいや学校はこれからが本番です。

先週、定期的に行っている学校生活アンケート「こころのとびら(心の扉)」の今年度第1回目を実施しました。私が最も注目している項目の「学校生活は楽しいですか？」の肯定的回答割合は、残念ながら全校で100%ではありませんでした。これから、100%にできるように、みんなで一緒に頑張ることを最大の目標としましょう。

さて、今年度の教育ビジョンで、生徒の人間形成の「根っ子」の部分である、基本的な生活習慣の確立・規範意識の醸成に向けての栄養素として、7つの項目を掲げました。『あいさつ』『メディア・コントロール』『モラル・マナー』『睡眠・食事』『親切・やさしさ』『奉仕』『体力』の7つです。今回は、その中の「親切・やさしさ」についての話をします。

今回例示したイラストは、背の高さが違う3人の子どもが、壁(フェンス)越しに野球観戦をしている姿です。これは、主に、「平等」と「公平」の違いや、特別支援教育の「合理的配慮」の考えを説明する場合によく使われる有名なイラストです。

私(校長)がめざしたい学校・生徒の姿は・・・

周囲から 自然に

「愛され・励まされ・応援される」

人間そして集団

「学校が楽しい」という生徒が100%

全員が「新津二中の生徒で良かった」と胸を張って誇れる学校

雰囲気をよくする

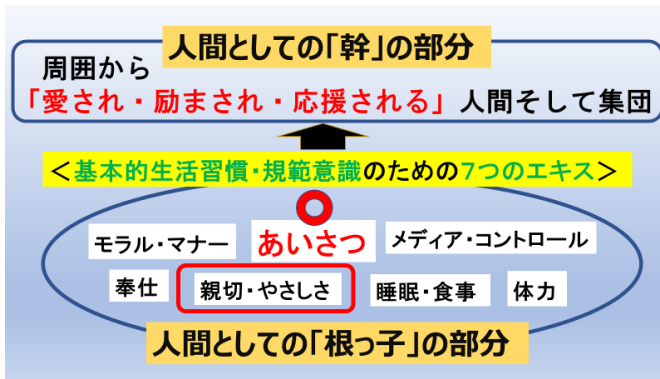
私(校長)がみんなに望む生き方は・・・

周囲から 自然に

「愛され・励まされ・応援される」

人間そして集団

「かっこいい」生き方をしよう！



「親切・やさしさ」について考える

Q 1. 「親切にやさしく」する相手は誰？

- ・自分のとても身近な人（家族・親類・知人 等）
- ・自分が知っている人や親しくしている人（友達、様々なグループの仲間 等）
- ・自分が好意をもっている人

自分が関わるすべての人間

「親切・やさしさ」について考える

Q 2. 「親切・やさしさ」って別な言葉で表すと？

- ・思いやり ・心配り ・気遣い
- ・親身 ・温情 ・厚意 ・配慮

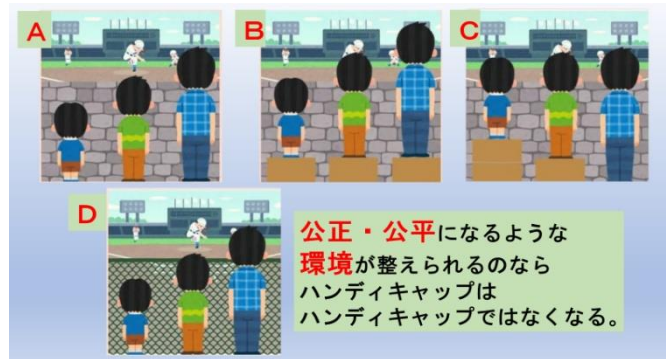
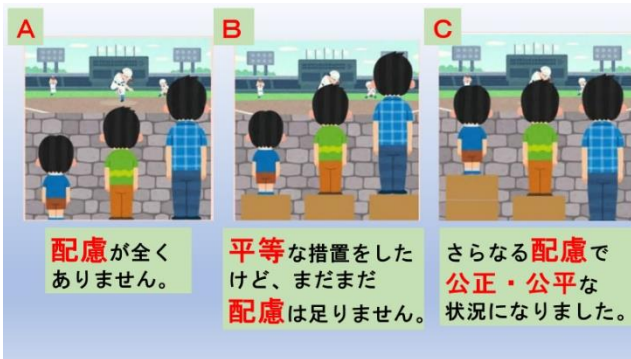
「親切・やさしさ」 = 自分以外のすべての人への配慮ある言動

「親切・やさしさ」について考える

「親切・やさしさ」 = 自分以外のすべての人への配慮ある言動

Q 3. 中でも特に「親切にやさしく」すべき人は？

- ・困っている人 ・思い悩み苦しんでいる人
- ・助けを求めている人 ・立場の弱い人
- ・ハンディキャップのある人



私がみんなに望む生き方は・・・

- ・人間は、人それぞれ違いがあって当然です。
- ・でも、悩みがない人間なんていないのではないだろうか。
- ・個人差はあるにせよ、人間は、誰もが必ず弱い部分を抱えているのではないだろうか。
- ・他人から見れば、目に見える困り感や悩みやハンディキャップを抱えている人もいれば、それが見えにくい、あるいは見えない場合だってあるのではないだろうか。

誰もが、自分自身は「配慮」されるべき対象
誰もが、自分以外の人間を「配慮」するべき存在
⇒ 困った時・つらい時・苦しい時は、助けてもらって当たり前
困った時・つらい時・苦しい人がいれば、助けるのが当たり前

私がみんなに望む生き方は・・・

お互いがお互いのその人らしさを認め合い、
人権を尊重し合い、助け合い、
励まし合い、期待し合いながら
お互いが幸せに生きていくために
何ができるのだろうか？
そのことに思いをはせ行動することが
「親切・やさしさ」

常に 自分以外の人間に「配慮」する気持ちと行動が重要

私がみんなに望む生き方は・・・

周囲から 自然に
「愛され・励まされ・応援される」
人間そして集団

「かっこいい」
生き方 ← だれにでも親切に
だれにでもやさしく

配慮する側が客観的に過剰な負担を強いられるような配慮だったり、その配慮が法やモラルに反するような場合は別にして、常に自分以外の人間に「配慮」できる「親切・やさしさ」のある人間に育ててほしいものです。

壁の向こう側の景色を自分だけが見られて他の人間が見られないことに無関心ではなく、壁の向こうの景色をみんなが見られるようにするためにはどうあるべきか、なのです。そのためには、自分自身がどんな人間とも“壁”をつくらないこと。これが先決でしょう。